

平成27年 子ども議会 会議録

平成27年8月10日(月)
午前10時 開 議

【開 会】

・町民憲章朗唱

【一般質問】

日程第1 一般質問

- (1) 葛巻町のまちづくりについて..... |
- | | | | |
|----|-------|-----|-----|
| 1番 | 葛巻小学校 | 大久保 | 知 紀 |
| 2番 | 葛巻小学校 | 村 田 | 帆 |
| 4番 | 葛巻小学校 | 上 平 | 奈 和 |
| 5番 | 葛巻小学校 | 大久保 | 響 |
- (2) 葛巻町の観光について..... 4
- | | | | |
|----|-------|-----|-----|
| 6番 | 葛巻小学校 | 服 部 | 河 来 |
| 7番 | 葛巻小学校 | 山 中 | 竜 哉 |
| 8番 | 葛巻小学校 | ハ 木 | 萌 香 |
| 9番 | 葛巻小学校 | 大 石 | 空 |
- (3) 葛巻町の健康福祉の取り組みについて..... 6
- | | | | |
|-----|-------|-----|-----|
| 10番 | 葛巻小学校 | 上 野 | 璃 子 |
| 11番 | 葛巻小学校 | 向 井 | 大 河 |
| 12番 | 葛巻小学校 | 家 田 | 佳 哉 |
| 13番 | 葛巻小学校 | 笹 川 | 大 成 |
- (4) 葛巻町の環境について..... 7
- | | | | |
|-----|--------|-----|-----|
| 14番 | 小屋瀬小学校 | 土 谷 | 貴 哉 |
| 15番 | 小屋瀬小学校 | 赤 石 | すみれ |
| 16番 | 小屋瀬小学校 | 外 山 | 瑞 希 |
| 17番 | 小屋瀬小学校 | 佐 藤 | 里 咲 |

(5) 葛巻町の観光について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

18番 吉ヶ沢小学校 畠山 春輝

19番 吉ヶ沢小学校 芳田 瞬

(6) 葛巻町内中学校における部活動について・・・・・・・・・・ 13

20番 江川小学校 山本 沙也加

21番 江川小学校 中居 颯真

22番 江川小学校 大川原 芽生

23番 江川小学校 木戸場 凜

24番 江川小学校 大川原 陽斗

(7) 通学路の安全・安心について・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

25番 五日市小学校 堀内 華来彩

26番 五日市小学校 下野 光

27番 五日市小学校 栗村 龍斗

28番 五日市小学校 橋 幸恵

29番 五日市小学校 辰柳 遥菜

【町長あいさつ】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

【議長あいさつ・講評】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

平成27年 子ども議会 会議録

開会年月日 平成27年8月10日(月) 開会10時00分 閉会11時38分

会議の場所 葛巻町役場

議員出席状況	議席番号	小学校名	氏名	出席	議席番号	小学校名	氏名	出席
	1	葛巻小学校	大久保 知紀	○	17	小屋瀬小学校	佐藤 里咲	○
	2	葛巻小学校	村田 帆	○	18	小屋瀬小学校	畠山 春輝	○
	3	葛巻小学校	本地 楓花	△	19	小屋瀬小学校	芳田 瞬	○
	4	葛巻小学校	上平 奈和	○	20	吉ヶ沢小学校	山本 沙也加	○
	5	葛巻小学校	大久保 響	○	21	吉ヶ沢小学校	中居 颯真	○
	6	葛巻小学校	服部 河来	○	22	江川小学校	大川原 芽生	○
	7	葛巻小学校	山中 竜哉	○	23	江川小学校	木戸場 凜	○
	8	葛巻小学校	八木 萌香	○	24	江川小学校	大川原 陽斗	○
	9	葛巻小学校	大石 空	○	25	江川小学校	堀内 華来彩	○
	10	葛巻小学校	上野 璃子	○	26	江川小学校	下野 光	○
	11	葛巻小学校	向井 大河	○	27	五日市小学校	栗村 龍斗	○
	12	葛巻小学校	家田 佳哉	○	28	五日市小学校	橘 幸恵	○
	13	葛巻小学校	笹川 大成	○	29	五日市小学校	辰柳 遥菜	○
	14	葛巻小学校	土谷 貴哉	○	30	葛巻小学校	吉澤 明香里	○
	15	葛巻小学校	赤石 すみれ	○	31	葛巻小学校	山形 奏心	○
	16	小屋瀬小学校	外山 瑞希	○				

会議の書記 議会事務局長 澤口 節子 議会事務局総務係長 遠藤 政明

地方自治法 第121条 により説明 のため出席 した者の職 ・氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	町長	鈴木 重男	健康福祉課長	深澤口 和則
	副町長	觸澤 義美	農林環境エネルギー課長	中村 輝実
	教育委員長	千葉 洋一	建設水道課長	冬村 一彦
	農業委員会長	鈴木 努	教育委員会事務局主幹	檜木 幸夫
	監査委員	馬 渕 文雄	病院事務局長	岩 泉 宇昭
	教育長	中田 直雅	農業委員会事務局長	村上 明彦
	総務企画課長	丹内 勉	総務企画課室長	
政策秘書課長	山下 弘司	総務企画課財政係長		
住民会計課長	村中 英治			

議事日程 別紙のとおり

会議の経過 別紙のとおり

(開議時刻 10時00分)

議長 (山形奏心さん)

皆さん、起立してください。

朝のあいさつをします。おはようございます。

着席してください。

今日の議会の議長を担当することになりました、葛巻小学校6年の山形奏心です。
よろしくお祈いします。

ただいまから、平成27年子ども議会を開会します。

今日の会議に先立ち、町民憲章の朗唱を行います。

事務局長が朗読しますので、引き続き、全員で朗唱をお願いします。

町民憲章のしおりを準備し、起立してください。

傍聴席の皆さんも、ご一緒にお願いします。

議会事務局長 (澤口節子さん)

それでは、朗読いたしますので、皆さん引き続き、朗唱をお願いいたします。

葛巻町民憲章

第1章 幸せな輝かしい未来のために、たくましい体力と気力、知性と創造性に満ちた人を育てる、教育の町づくりにつとめます。

第2章 明るく楽しい生活のために、きまりを守り、温かい心をもって、互いに助けあう、福祉の町づくりにつとめます。

第3章 豊かな美しい郷土のために、自然を愛し、資源の活用に、力を合せて生き生きと働く、産業の町づくりにつとめます。

議長 (山形奏心さん)

着席してください。

以上で、町民憲章の朗唱を終わります。

これから、今日の会議を開きます。

ただいまの出席議員は、30名です。

定足数に達していますので、会議は成立しました。

これから、今日の議事日程に入ります。

日程第1、一般質問を行います。

今日の会議には、7件の一般質問の通告がありましたので、順番に発言をお願いします。

はじめに、1番、葛巻町のまちづくりについてです。

質問議員は、葛巻小学校の、1番、大久保知紀議員。2番、村田帆議員。3番、本地楓花議員は欠席です。4番、上平奈和議員。5番、大久保響議員です。

4名の議員は、質問席に移動してください。

1 番（大久保知紀議員）

2 番（村田帆議員）

4 番（上平奈和議員）

5 番（大久保響議員）

まちづくりについての質問です。

葛巻町がミルクとワインとクリーンエネルギーのまちであることは、よく知っています。

ワインはまだ飲めませんが、牛乳は給食でも毎日飲んでいきます。また、一昨日まで参加していたキツザニアのキャンプでも毎食牛乳が出て、東京から来た友達もみんなおいしい牛乳に大喜びしていました。

エネルギーについては、私たちの学校では省エネプランを作って、学校全体で取り組んでいます。

使っていない教室、廊下、トイレの電気を消そう。晴れた日は外で遊ぼう。手洗いは鉛筆1本分の水でしよう。歯みがきはコップ1杯分の水でしよう。水道の蛇口をしっかりと閉めよう。食べ物の好き嫌いをなくし、残食をしないようにしよう。こぼれた水は雑巾でしっかりと拭こう。ごみの分別をしよう。自分の持ち物には名前を書こう。歩いて登下校しようなどの取り組みをしています。

そこで、お聞きしたいのですが、まちづくりについて詳しいお話や、将来的にどのようなまちづくりを目指しているのかということをお聞かせください。よろしくお願ひします。

議長（山形奏心さん）

町長。

町長（鈴木重男君）

ただいまは、葛巻小学校の議員の皆さんから質問をいただきました。

葛巻町では、どのようなまちづくりを目指していますか。ミルクとワインとクリーンエネルギーのまちということは、これまでに町の学習をして知っていますが、具体的なことや将来的なことについて教えてくださいという質問にお答えをいたします。

まず、どのようなまちづくりを目指しているかであります。

葛巻町は、町全体の面積の86パーセントが緑豊かな森林を占め、標高1,000メートル級の山々に囲まれた高原風土が漂う酪農と林業の町であります。

町では、ミルクとワインとクリーンエネルギーのまちくずまきをキャッチフレーズにしなが、町にある産業や資源、環境を最大限活かした山村のモデルとなるまちづくりとして、夢のあるまちづくり、住み続けたいと思える町、誇りを持てる町の実現に取り組んできております。

特に、昭和35年の国勢調査以降、葛巻町の人口は減少し続けており、一人でも多くの人から町に住み続けてもらうため、産業振興対策や定住対策のほか、今年度からは、

県外からの高校生を受け入れる葛巻高等学校山村留学制度の創設、あるいは100年後の酪農の目標を描いた新葛巻型酪農構想の推進など、葛巻だからこそできる、葛巻にしかできない取り組みを進め、全国の山村のモデルとなるまちづくりを目指しております。

次に、ミルクとワインとクリーンエネルギーのまちの具体的なことや、将来的なことについてであります。

町では、明治25年に乳用牛を導入して以来、先人のたゆまぬ努力で、東北一の酪農の町として発展してきたほか、林業振興と地域資源の活用、雇用創出を目的に昭和61年度から山ぶどうを原料としたワイン造りをスタートさせております。また、平成10年には全国に先駆けて新エネルギービジョンを策定し、風力発電施設などの整備をしてきております。

町を代表する三つの取り組みを町外の多くの人達に知ってもらうために、キャッチフレーズとして、ミルクとワインとクリーンエネルギーのまちくずまきとして紹介をしてきております。

これからの将来的なことではありますが、ミルクにつきましては、町の基幹産業である酪農が100年後においても農山村における新たな酪農経営のモデルとなるよう、飼養頭数と生乳生産量の安定的な確保を図りながら、高品質なくずまきブランド牛乳の確立を目標とした新葛巻型酪農構想を進めていきます。

ワインについては、将来的には新しい工場を建設したいというように考えております。今の工場では生産量が目一杯でありますことと、工場の敷地、規模が少し手狭になってきております。新しい工場を建設し、今よりも多くのワインを生産し、そして、たくさんの人から飲んでいただきたいと考えております。

クリーンエネルギーにつきましては、新葛巻型酪農構想の推進で、酪農団地で畜ふんを利用したバイオマス発電や熱源利用を行い、そのエネルギーを町内で利活用できる環境をつくりたいと考えております。そのエネルギーを利用し、温室栽培などの新たな農業の取り組みにもチャレンジしたい、そう考えているところであります。

町では、基幹産業である酪農と林業の振興を中心としながら、エネルギーの地産地消の推進など、21世紀の地球規模での課題とされる食料・環境・エネルギーのすべてに貢献できる山村ならではの取り組みを進めていこうとしております。

葛巻町が持つ資源と魅力を積極的に活用、情報発信をしながら、30年、50年先も町に住む皆さんが、この町に誇りを持ち、この町に住んで良かったと思えるような、そういう町にするため、葛巻らしい一歩先行くまちづくりを進めてまいりたいと考えているところであります。次の時代を担う皆さんからも、まちづくりに対するたくさんのご意見を聴かせてもらえれば大変嬉しく思います。よろしく願いいたします。

議長（山形奏心さん）

ここで、議員から感想をお願いします。

2番、村田帆議員。

2番（村田帆議員）

葛巻町がどのようなまちづくりを目指しているかが分かりました。ありがとうございました。

1番（大久保知紀議員）

2番（村田帆議員）

4番（上平奈和議員）

5番（大久保響議員）

ありがとうございました。

議長（山形奏心さん）

4名の議員は、自分の席に戻ってください。

次に、2番、葛巻町の観光についてです。

質問議員は、葛巻小学校の、6番、服部河来議員。7番、山中竜哉議員。8番、八木萌香議員。9番、大石空議員です。

6番（服部河来議員）

7番（山中竜哉議員）

8番（八木萌香議員）

9番（大石空議員）

観光についての質問です。

まずは、こちらを見てください。私たちは、6月に仙台方面へ修学旅行に行きました。これは、私たちが、そのときに学習したことをまとめた新聞です。

平泉、青葉城などの歴史的文化財や科学館、遊園地といったレジャースポットなどを巡り、とても楽しく観光してきました。

そこで、質問です。葛巻では、観光でどのようなことに力を入れているのですか。教えてください。

議長（山形奏心さん）

町長。

町長（鈴木重男君）

ただいま、葛巻小学校4人の議員の皆さんから、観光で最も力を入れていることは何かと、その質問にお答えをいたします。

昔は、旅行会社などが企画し、大型バスを貸し切って観光地や温泉に行く団体旅行が、観光と言えば主なものでありました。

しかし、最近では、インターネットなどの情報通信手段が普及、進展したことで、そ

それぞれの個人が、行きたい場所の情報が簡単に調べられるようになったほか、新幹線や高速道路、格安飛行機など、移動、交通手段が多様化されたことで、旅行をする人の8割以上は個人の旅行者になっております。

また、人口減少や景気の低迷などにより、日本人の観光客は減少傾向にありますが、中国、あるいは韓国、台湾などからの外国人観光客は年々増加してきており、日本の多くの観光地では、外国人の受け入れに力を入れております。

葛巻町には、温泉、ゴルフ場、あるいはスキー場、そしてまた、歴史的な文化財、こういったものがないものであります。しかしながら、くずまき高原牧場やワイン工場、あるいは風力発電施設など、町にある地域資源や山村が持つ機能を活かした体験型のイベントなど、その価値を高める取り組みで多くの方が、今、町においでをいただいております。そしてまた、さらに一人でも多くの観光客に来てもらうための努力をしているものであります。

次に、どのようにPRしているかということですが、町の観光協会、あるいは商工会、あるいは、くずまき高原牧場、そして、くずまきワインなどと協力しながら町内で様々なイベントを開催しているほか、盛岡や東京などにも出かけ、葛巻町の良さを情報発信しているものであります。

また、町のホームページやフェイスブックなどの情報通信技術を活用したPRのほか、外国人用のパンフレットやドライブマップ、個人観光客向けのガイドブックなどを作成し、葛巻町を今まで以上に楽しんでもらう、今まで葛巻町に来たことがない人からも葛巻町に行ってみたいと思ってもらえるような取り組みもしております。

どうぞ皆さんも一緒に葛巻町の良さを町外のお友達などにPRをしていただければ、さらにまた、葛巻へ足を運んでくれる方々が増えるであろう、そう思います。皆さんからも、情報発信をよろしく願いをいたします。

議長（山形奏心さん）

ここで、議員から感想をお願いします。

9番、大石空議員。

9番（大石空議員）

葛巻町の観光のことがたくさん分かりました。ありがとうございます。

6番（服部河来議員）

7番（山中竜哉議員）

8番（八木萌香議員）

9番（大石空議員）

ありがとうございました。

議長（山形奏心さん）

4名の議員は、自分の席に戻ってください。

次に、3番、葛巻町の健康福祉の取り組みについてです。

質問議員は、葛巻小学校の、10番、上野璃子議員。11番、向井大河議員。12番、家田佳哉議員。13番、笹川大成議員です。

4名の議員は、質問席に移動してください。

10番（上野璃子議員）

11番（向井大河議員）

12番（家田佳哉議員）

13番（笹川大成議員）

葛巻町の健康福祉についての質問です。

まず、このグラフを見てください。総務省の国勢調査に基づく葛巻町の人口と世帯、高齢化率の推移のグラフです。総人口に占める65歳以上の割合が、国の平均より高く、高齢者の割合は今後も増加していくことが予想されます。このままいけば、私たちが成人している10年後には、町に住んでいる人の約2人に1人が65歳以上ということになります。

そこで、今後、町として、より一層健康福祉に力を入れなければいけないと思うのですが、そこで質問です。高齢者が安心して暮らすための町としての取り組みや工夫について教えてください。

議長（山形奏心さん）

町長。

町長（鈴木重男君）

ただいまの質問に、お答えをいたします。

高齢化率が年々高くなっているというお話でありました。高齢化率を上げないようにすること、皆さんが将来、大人になって活躍するときに、ぜひ葛巻で活躍をしていただくことを考えていただきたい。そうしますと、高齢化率の増加が抑えられるものであります。町としては、若い方々が町に就職できる環境をしっかりと整えておりますので、ぜひご理解をいただきながら、皆さんからも将来は町外に出ない、町内でぜひ活躍することを考えていただきたい、そう思います。

質問でありますがお年寄りが安心して暮らすために、どのような取り組みや工夫をしているか教えていただきたいという質問であります。

お年寄りが安心して暮らすためには、住み慣れた場所で生活が続けられることが、とても大事であり、その生活を支えるための医療、介護のサービスはもちろん、生活支援、見守りなどのサービスも重要だと思っております。

葛巻町では、現在、新しい病院と新しい養護老人ホームの建設を進めていますので、完成後には、今まで以上に医療、介護のサービスが充実されてくるものと思っております。

ます。

また、車の運転ができない高齢者がたくさんおられますので、通院や買い物がしやすくなるように、平成 25 年度から 100 円バスを運行しております。

また、生活習慣病予防のために健康診断を受けてもらえるような工夫やインフルエンザなどの予防接種代金の一部を助成しております。

そのほかにも、お年寄りの家庭にお弁当を届ける配食サービスや、車いすを利用しているお年寄りの外出を支援するために、車いすのまま乗ることができる車の貸し出しなど、高齢者の方が安心して生活できる様々な取り組みをいたしております。

さらに、一人暮らしや、お年寄り同士だけの家庭でも、安心して暮らしてもらえるように、民生委員や地域安心生活支援員を各地区に配置して、地域のみんなでお年寄りを見守る体制をつくっております。

また、老人クラブや自治会などからは、様々なイベントを企画してもらい、憩いと交流の場も提供いただいております。

町では、お年寄りが安心して暮らせるように、様々な取り組み、工夫をしていますが、皆さんもお年寄りの気持ちを理解して、やさしく声をかけたり、困っているお年寄りを見かけたときには、手を差し伸べてあげるなど、一緒になってお年寄りが安心して暮らせる葛巻町をみんなと一緒につくっていきましょう。よろしくお願ひします。

議長（山形奏心さん）

ここで、議員から感想をお願いします。

11 番、向井大河議員。

11 番（向井大河議員）

葛巻町がお年寄りのために、いろいろな工夫や取り組みをしていることが分かりました。ありがとうございました。

10 番（上野璃子議員）

11 番（向井大河議員）

12 番（家田佳哉議員）

13 番（笹川大成議員）

ありがとうございました。

議長（山形奏心さん）

4 名の議員は、自分の席に戻ってください。

次に、4 番、葛巻町の環境についてです。

質問議員は、小屋瀬小学校の、14 番、土谷貴哉議員。15 番、赤石すみれ議員。16 番、外山瑞希議員。17 番、佐藤里咲議員です。

4 名の議員は、質問席に移動してください。

14 番（土谷貴哉議員）

僕は、小屋瀬小学校、14 番、6 年、土谷貴哉です。

15 番（赤石すみれ議員）

私は、15 番、赤石すみれです。

14 番（土谷貴哉議員）

15 番（赤石すみれ議員）

僕たちは、3 年生の社会科で葛巻町について学習しました。葛巻町は、クリーンエネルギーの町をキャッチフレーズとして、風力発電や太陽光発電、バイオマス発電などに取り組んでいることを知りました。

私たちの地区でも、上外川に風力発電用の風車があります。また、小屋瀬中学校や葛巻中学校、各コミュニティセンターなどに太陽光発電システムがあります。インターネットで調べてみると、町内で使われている電力は 3,000 万キロワット、発電は 5,600 万キロワットで発電の方が上回っていることが分かりました。

葛巻町は、自然豊かな町としても有名です。環境を守りながら、エネルギーを生産することは、とても大切なことだと思います。また、自分たちが使う電気を自分たちでつくることができることで、節約にもなり、その分のお金を有効に使うことができると思います。

そこで質問します。小屋瀬中学校や葛巻中学校に設置されている太陽光発電システムを、他の小中学校や公共施設に増やす計画はありますか。

16 番（外山瑞希議員）

私は、16 番、小屋瀬小学校 6 年、外山瑞希です。

私たちは、現在、森林愛護少年団として植樹をしたり、他の少年団と交流をしたりしています。葛巻町は森林に囲まれた自然豊かな町です。道路も整備され、たくさんの人が緑を求めて訪れるようになりました。また、森林は、町の大切な資源にもなっていると思います。

そこで、質問します。森林を守るために、町ではどのような取り組みをしていますか。

議長（山形奏心さん）

町長。

町長（鈴木重男君）

ただいまは、小屋瀬小学校の議員の皆さんからの質問をいただきました。

エネルギーに対して関心を持っていただいておりますこと、大変嬉しく思うもので

あります。

葛巻町のクリーンエネルギー、再生可能エネルギー、電気エネルギーの自給率でございますが、現在、町全体で1年間で電気を使う量、町の電気の消費量に換算して、電気エネルギーの自給率が166パーセントの町であります。これで、目一杯ということではなくて、まだ、机上での計算上では、今の何十倍も増やすことができる、そういった可能地が町にはたくさんある、そういう魅力のある町くずまき、可能性のある町くずまきであることもご理解をいただきたいというように思います。

まず、質問の1点目の太陽光発電システムを各小中学校その他の施設に増やす計画はありませんかという問題に、お答えをいたします。

町では、町内すべての小中学校に太陽光発電システムを設置することにしており、8校中5校については、既に設置済みであります。今年度は、小屋瀬小学校と江川中学校に設置するための準備を進めております。

また、江川小学校については、校舎を新しく建てることしておりますので、建て替え工事後に太陽光発電システムを設置する予定にしております。

小中学校以外のその他の施設では、太陽光発電システムを各地区のセンターや公民館29カ所に既に設置をしております。その他に、くずまき高原牧場、グリーンテージなどにも設置をしており、さらには社会体育館にも設置をすることにしております。

葛巻町では、太陽光発電システムのほかにも、風力発電施設、木材を燃料とするペレットボイラーや木質バイオガス発電、牛のふん尿からガスを作り出す畜ふんバイオガス発電など、地域にある資源を利用した新エネルギーの導入に積極的に取り組んでおります。

また、地域資源を活用した発電の取り組みだけではなく、無駄な電気は使わない省エネルギーの取り組みも重要であり、特に世界規模で問題となっている地球温暖化については、その原因となる温室効果ガスの排出を少なくすることが未来のために大切だと考えております。

また、2点目の、森林を守るために、どのような取り組みをしておりますかという質問でございます。

小屋瀬小学校におきましては、県下でも歴史のある、大変古い歴史を持つ長い活動を続けております森林愛護少年団の活動を今尚しっかりと継続しておりますことにも敬意を表したいというように思います。

葛巻町は、標高1,000メートル級の山々に囲まれ、面積の約86パーセントが森林の緑豊かな高原の町であります。昔は木炭の産地でありました。現在は、カラマツを加工して建築の用材にするなど、酪農と並びまして、林業は町の重要な産業のひとつであります。

森林は、木を切り出し、燃料や木材として使用するだけではなく、私たちの生活に欠かせない水を貯めてくれたり、二酸化炭素を吸収し地球温暖化を抑えてくれたり、さらには山菜やキノコなどの山の幸を与えてくれるなど、様々な機能を持っていて、私たちの生活には欠かせない大切な資源であります。

この大事な資源である森林は、50年あるいは80年という長い時間をかけて木は大きく成長していきますが、大きくなった木を木材として利用していくこと、そして、そのあとには、人の手で木を植え、しっかり植林をし、再生していくことが、森林を守るためには、とても大事なことであり、町では森林を守るために、木を切ったあとには植林をしたり、あるいは下刈り作業をしたり、あるいは、つる切りや除伐といった保育作業をして、気が大きく成長できる環境を整えております。

また、町では、森林資源を活用する木質バイオマスや薪ストーブ、ペレットストーブの利用拡大を推進しているほか、植樹祭やトリプルまきフェスタなどのイベントを通じて、森林資源の大切さを情報発信しております。

森林は、町にとっても、皆さんにとっても大事な財産でありますし、豊かな自然環境を守っていくために、新エネルギーの導入や省エネルギー化の取り組みも大事であります。

山を守り育てること、木を切るということは決して悪いことではありません。しっかりと活用をして、そのあとには、また植えていくということを常に心がけていかなければならないもの、そのように思っております。一番大事なことは、木を無駄なく有効に活用することが、私は大事だと常々思っております。

ふるさと葛巻町の豊かな自然の象徴である森林保護と、美しい自然と環境が未来にも残せるように、皆さんと一緒に頑張ってもらいたい、そのように思います。

議長（山形奏心さん）

ここで、議員から感想をお願いします。

17番、佐藤里咲議員。

17番（佐藤里咲議員）

太陽光発電システムなどが各小中学校や公共施設などに設置されることにより、エネルギーへの関心が深まると思います。

また、森林を守る活動や太陽光発電システムの活動をすることで、もっと葛巻町が良くなると思います。私たちも森林を守る活動を続けていきたいと思っています。計画の方もよろしくをお願いします。ありがとうございました。

14番（土谷貴哉議員）

15番（赤石すみれ議員）

16番（外山瑞希議員）

17番（佐藤里咲議員）

ありがとうございました。

議長（山形奏心さん）

4名の議員は、自分の席に戻ってください。

ここで、10時55分まで休憩します。

(休憩時刻 10時41分)

(再開時刻 10時55分)

副議長 (吉澤明香里さん)

ただいまから、会議を再開します。

ここで、議長を交代します。

副議長を担当することになりました、葛巻小学校6年の吉澤明香里です。よろしくお願ひします。

次に、5番、観光についてです。

質問議員は、吉ヶ沢小学校の、18番、畠山春輝議員。19番、芳田瞬議員です。

2名の議員は、質問席に移動してください。

18番 (畠山春輝議員)

18番、吉ヶ沢小学校6年の畠山春輝です。

19番 (芳田瞬議員)

19番、芳田瞬です。

18番 (畠山春輝議員)

19番 (芳田瞬議員)

僕たちは、葛巻町の観光について質問します。

僕たちは国語の学習で葛巻町のパンフレットを作りました。その活動を通して、葛巻町はミルク、ワイン、クリーンエネルギーのまちで様々な取り組みをしていることを知りました。

また、吉ヶ沢小学校では毎年、くずまき高原牧場まつりに参加し、自分たちで作ったもち米や藍染のハンカチなどを販売しています。今年は去年よりもたくさんのお客さんに来ていただき、用意していたものすべて販売することができました。来年もたくさんの人に来てもらいたいと思いました。

そこで質問ですが、葛巻町の良さを知ってもらい、たくさんの人たちに来てもらえるような新しい取り組みを何か考えていますか。

副議長 (吉澤明香里さん)

町長。

町長 (鈴木重男君)

ただいまは、吉ヶ沢小学校のお二人の議員から質問をいただきました。

吉ヶ沢小学校、小規模校ながら、いつも積極的にいろいろなイベントに参加してくれておりますこと、よく活動、活躍をしているなどいうように、私はいつも高く評価をしているものであります。くずまき高原牧場まつりでありましたり、あるいは植樹祭でありましたり、多くの行事に参加をしていただいております、感謝をしております。

葛巻町の良さを知ってもらい、たくさんの人たちに来てもらえるような新しい取り組みを何か考えていますかという質問に、お答えいたします。

現在、町には1年間で約500,000人の方が様々なイベントや、くずまき高原牧場で酪農体験、風力発電施設の視察などに来ていただいておりますが、葛巻をもっと元気で楽しい町にしていくためには、今以上にたくさんの方々から町に来てもらいたい、そう思っております。

そのためには、葛巻町の自然環境や様々な取り組み、葛巻だから、葛巻にしかできない、葛巻にしかない、そういった良さを知ってもらうことが重要であります。

町では、盛岡や東京に出かけ、観光PRをしたり、ホームページ、フェイスブックなどで情報を発信したり、私自身も出張などで、いろいろなところに出かける機会が多いわけではあります。たくさんの方々から葛巻を知ってもらえるように、そして、葛巻にぜひおいでください、こんな豊かな、自然豊かな良い環境の町なのです、ぜひおいでください、そうPRをしているところであります。

例えば、その他には、くずまきミワクの町交流事業として、盛岡市で観光ビジネスを学んでいる大学生などの学生を中心に葛巻町に招待するツアーを企画しており、町内のイベントに実際に参加することで、葛巻町の良さを体感していただき、それぞれの学生から情報発信をしてもらう取り組みをしております。

さらには、町の特産である乳製品は町の良さのひとつでありますので、皆さんが他所に出かけたときには、お土産として使っていただくとともに、町の特産品のミルクとワインを紹介していただくことで、くずまき高原牧場やワイン工場に足を運んでもらうきっかけにもなると、そう思っております。

また、たくさんの方々に来てもらうためには、情報発信だけではなく、今よりも時間をかけずに町に来てもらえる道路環境の整備も重要だと思っております。トンネルや橋などを整備し、葛巻町と岩手町の間が15分ぐらいで行き来できるようになれば、より多くの方々から町に来てもらえるようになるだろうと、そう思っております。15分でいわて沼宮内駅と葛巻町の中心部を結ぶ、これも不可能なことではない、そう思っております、これも実現をしたいと今考えているところであります。地図上で見ますと、葛巻の茶屋場から、ちょうど小屋瀬小学校、あの付近を直線で結びますと、約4キロであります。僅か4キロ、時速60キロでしたら、4分で茶屋場から小屋瀬に着く、行ける、トンネルを通せば、それが可能であると、そのように考えておりますことと、それからまた、大坊峠、冬などは極めて難所な大坊峠ではありますが、この大坊峠も橋とトンネルで4号線、あるいは、いわて沼宮内駅を結びますと、僅か数分です。そのようなことから、15分、16分程度で4号線までいくことができる、そういった道路整備についても、今後、考えてまいりたい、そのように思っておるもの

でありまして、町では、今、国や県に対して、道路整備の要望を強くしているところ
であります。

情報発信は、子どもからお年寄りまで、町民の誰もがができる取り組みであります。
皆さん自身も葛巻町の良さをしっかりと知り、一人でも多くの葛巻ファンを獲得をし
ていただき、たくさんの方々が葛巻に来てもらえるような、そしてまた、行ってみたい
、そういった魅力のある町になるように、皆さんと、さらに一緒に取り組んでまい
りたい、そのように思います。よろしく願いいたします。

副議長（吉澤明香里さん）

ここで、議員から感想をお願いします。
18番、畠山春輝議員。

18番（畠山春輝議員）

葛巻町の良さを知ってもらうために、新しい取り組みを考えていることが分かりま
した。葛巻町の良さを知ってもらい、たくさんの人に来てもらえたらいいなと思いま
した。ありがとうございました。

副議長（吉澤明香里さん）

2名の議員は、自分の席に戻ってください。
次に、6番、葛巻町内中学校における部活動についてです。
質問議員は、江川小学校の、20番、山本沙也加議員。21番、中居颯真議員。22番、
大川原芽生議員。23番、木戸場凜議員。24番、大川原陽斗議員です。
5名の議員は、質問席に移動してください。

22番（大川原芽生議員）

私たちは、江川小学校の6年生です。このように私たちの考えを聞いてくださるチ
ャンスをいただき、感謝しています。
私は、江川小学校の児童会長を務めています、22番、大川原芽生です。
将来は、ピアノの先生を目指しているので、中学生になったら音楽関係の活動ので
きる吹奏楽部に入りたいと思っています。

21番（中居颯真議員）

僕は、江川小学校の児童会議長を務めている、21番、中居颯真です。
中学生になったら、今、葛巻小学校にいる野球仲間と一緒に野球をやりたいと思っ
ています。

20番（山本沙也加議員）

私は、江川小学校、20番、山本沙也加です。

私は、中学生になったら剣道をやってみたいです。

24 番（大川原陽斗議員）

僕は、江川小学校、24 番、大川原陽斗です。

僕は、中学生になったら江川中学校に行って野球部に入りたいです。

23 番（木戸場凜議員）

私は、23 番、木戸場凜です。

私は、将来、水泳教室でお世話になった伊藤華英選手のような水泳選手になりたいので、中学生になったら水泳部に入りたいです。

20 番（山本沙也加議員）

21 番（中居颯真議員）

22 番（大川原芽生議員）

23 番（木戸場凜議員）

24 番（大川原陽斗議員）

私たち、江川小学校の6年生は、中学校での部活動を自分の好きな活動に取り組むことができる環境にしてもらいたいと、強く思っています。

なぜならば、自分が好きでやりたいと思っている部活動をやった方が熱を入れて頑張ることができるし、自分の将来の夢につながるかもしれないからです。

中学校生活は、たったの3年間ですが、私たちにとって、とても大切な3年間だと思っています。

私たちに、ぜひ興味のある部活動をさせてください。町全体でチームをつくるなど、他校にいる同じ目標を持つ仲間同士で刺激を受け合いながら活動することで交流ができ、中学校生活がより充実したものになるのではないかと考えます。

まず、はじめに、私たちは、現在、葛巻町内の三つの中学校にある部活動と、その人数を調べました。こちらをご覧ください。私たちの進学予定の江川中学校は野球、テニス、卓球、文化部があります。葛巻中学校は、サッカー、野球、バスケ、バレー、テニス、文化部があります。小屋瀬中学校は、全校生徒が全員、卓球部に所属しています。それぞれの人数は書いてあるとおりです。

次に、こちらの表を見てください。これは、町内五つの小学校6年生に、担任の先生を通して電話で、今の段階で来年、中学校に入ってやってみたい部活は何かというアンケートをとって、結果を表にまとめたものです。ご協力いただいた6年生と担任の先生方ありがとうございました。

この緑で囲んである線は、僕たち江川小学校6年生以外にも、現在、中学校にはない部活をやってみたいと思っている人がいることがわかります。僅かではありますが、人数が少ないからと片付けないでほしいのです。人には得意、不得意もあります。誰でもそうだと思うのですが、好きだから頑張れるということがあると思います。私た

ちは好きなことで頑張りたいのです。

例えば、私のやりたい水泳部の人数が町内でたった1人ですが、そんな場合は、他の部活の仲間と自主トレーニングを積みながら、週に1、2回は高校生や経験のある社会人の方と、冬でも利用できる葛巻町のプールで活動をさせてもらえる機会をいただけたら、私の将来の夢につながります。

このように水泳部や陸上部ができれば、葛巻町のプールや新しくできた陸上競技場を大いに活用することもできるのではないのでしょうか。町全体で活動する際は、遠い場合は毎日一緒に活動するというわけにはいかないと思うので、週に2、3回バスで活動場所に移動させていただくということはどうでしょうか。近い人は、徒歩や自転車で移動することができます。移動場所に集まれないときは、今、凜さんが話したように、他の部活の仲間と一緒に基礎トレーニングを積んでも良いと思うし、2、3人以上部員がいるならば、その部員と一緒にできるトレーニングや練習をすることもできます。

僕の入りたい野球部も、町全体での活動によって、チームとしての練習時間は今より増えると思います。町全体の取り組みで、選手も、応援してくださる方も心をひとつにして頑張ることができると思うのです。

どうか、私たちが中学校で自分たちのやりたい部活動ができるような環境をつくってください。よろしくお願いします。

副議長（吉澤明香里さん）

町長。

町長（鈴木重男君）

ただいまは、江川小学校5人の議員の皆さんからの切実なる要望であると、そのように受け止めたものであります。しっかりと実現するように私も考えますし、そういう思いで答弁をさせていただきます。

中学校で自分たちの希望する部活動が行うことができるように考えてほしいという質問であります。

町内の中学校では、生徒数の減少によって、チーム編成が難しくなっている学校もあり、現在は、葛巻中学校に、男子が野球、サッカー、バスケットボール、総合文化部、女子はバレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、総合文化部。小屋瀬中学校には、男女とも卓球部のみ。江川中学校には、男子が野球、卓球、総合文化部、女子がソフトテニス、卓球、総合文化部があり、どの中学校も生徒の皆さんが、先生方の指導のもとに熱心に活動に取り組んでおります。

皆さんの中には、来年入学する中学校での部活動を楽しみにしている方がたくさんいると思いますが、町では、盛岡市やその周辺の市や町の中学生と同じように、誰もが自分の好きな部活動に取り組みたいという希望を叶えてあげたいと思っております。町内各中学校の部活動を一本化し、町のバスを使って生徒の送迎を行うことで、部活

動の選択という課題を解決したいと考えております。

また、合同部活動を実現させるためには、中学校総合体育大会や新人戦に中学校単位でなく市町村単位での参加が可能となるよう、中学校体育連盟という団体から認めてもらい必要がありますので、町では既に岩手県と岩手地区の中学校体育連盟に対し、町内の部活動の現状を説明し、ご理解をいただいております。

7月に行われました理事会では、このことが議題として取り上げられ、来年度から3校合同部活動の実現に向け、大きな前進がみられました。

町では、これまでも一流選手によるスポーツ教室の開催などを行ってきましたが、これからも、いろいろなスポーツ選手から指導を受けられる機会をつくり、皆さんの部活動をサポートしていきたいと、そのように考えております。

各学校とも児童数が減少傾向にあるわけであります。そういった中で、中学校に入り、大事な部活動、それぞれの皆さんが持っておられる夢や希望をしっかりと実現できるようにしていかなければならないと、そのようにも思っておりますことと、学校の小規模校、小規模化、小規模傾向に進んでいくということを考えますときに、やがて、こういった課題が浮上してくることも、私自身も以前から想定をしておったものであります。そのようなことから、先ほどは、週に2回でもいいですがというお話でありましたが、私は皆さんと、それから学校の先生方が、あるいは皆さんの総意であれば、毎日でも可能にしてあげたい、そのようにも思っておるものであります。小規模校だからできないというような、そういった環境にはしたくないというようにも思っておりますので、大変、今日は皆さんからの要望、ご意見、大事なものでありました。どうぞ早期に先生方、あるいはご父兄の皆様方、そして、地域の皆さんで協議をいただきながら、ぜひ皆さんから具体的な要望も頂戴しながら、それにしっかりと町として応えてまいりたい、そのように思っております。よろしくどうぞお願いいたします。

副議長（吉澤明香里さん）

ここで、議員から感想をお願いします。

22番、大川原芽生議員。

22番（大川原芽生議員）

私たちの質問に分かりやすく答えていただきありがとうございました。私は、今回、中学校の部活動についてアンケート調査をしたり、みんなでいろいろな意見を出し合ってみて、子どもたちの人数が少ないと部活動の種類も少なくなってしまうので、とても残念なことだと思いました。でも、今日、町長さんのお話を聞いて、私たちのことや学校のことなどを、とても大切に考えてくださっているのだなと感じました。私たちは、これからも自分の夢の実現に向けて頑張っていきたいと思います。今日は、私たちの考えを聞いてくださるチャンスをいただき、本当にありがとうございました。

20 番（山本沙也加議員）

21 番（中居颯真議員）

22 番（大川原芽生議員）

23 番（木戸場凜議員）

24 番（大川原陽斗議員）

ありがとうございました。

副議長（吉澤明香里さん）

5名の議員は、自分の席に戻ってください。

次に、7番、通学路の安全・安心についてです。

質問議員は、五日市小学校の、25番、堀内華来彩議員。26番、下野光議員。27番、栗村龍斗議員。28番、橘幸恵議員。29番、辰柳遥菜議員です。

5名の議員は、質問席に移動してください。

25 番（堀内華来彩議員）

26 番（下野光議員）

27 番（栗村龍斗議員）

28 番（橘幸恵議員）

29 番（辰柳遥菜議員）

僕は、議会は初めてなので、少し緊張していますが、今日はよろしくお願ひします。

先日は、ミニサッカー大会が陸上競技場内で行われましたが、これまでは雨が降るとグラウンドがぬかり、全身が泥だらけになることもありましたが、今年度は陸上競技場が全天候型グラウンドへ整備され、大変使いやすくなりました。大会当日も雨が降っていましたが、ぬかるんだり、泥だらけになったりすることもなく、気持ちよくプレイすることができました。整備していただき、大変感謝しています。

また、現在、私たちは8月下旬に行われる陸上記録会に向けて練習に励んでいます。8月25日には現地練習も行う予定で、今から楽しみにしているところです。

このように、自分達の活動の場の整備が進むことは、とても嬉しく、私たちの住む葛巻のまちづくりに対して、大変感謝しています。

しかし、五日市小学校に通う私たちに、今、登下校の際に心配なことがあります。例えば、栗山地区から学校へ行く途中、歩道が一部なくなっているために、少し道路に出なければならず、低学年にはとても危険だとも思っています。

また、学校の前を通る国道340号線は、とてもスピードを出す車が多く、辰鼻地区から通う私は、歩道のない側に家があるため、いつも横断歩道のない道路を歩道側に横断しなければならず、危険だと感じています。

さらに、学校より南側にある僕たちは、普段はスクールバスで登下校をしています。長期休みの際は、陸上練習や水泳練習、友達の家遊びに行くときなど自転車を使うのですが、その際、歩道がないところが多く、また、道路が狭いところもあり、いつ

も自転車で活動する際に、とても危険で怖い思いをしています。

そこで、通学路の安全・安心について、ひとつ質問があります。学区内で登下校するとき、歩道がなかったり、狭かったりするところがあり、私たちは、とても危険で怖い思いをしています。五日市小学区に歩道を整備することは可能なのかお伺いします。

副議長（吉澤明香里さん）

町長。

町長（鈴木重男君）

ただいまは、五日市小学校の5人の議員の皆さんから質問をいただきました。

私は、いつも葛巻町内の小中学生の皆さんが元気よく、のびのびと活動できる環境を何より優先をして整えていかなければならない、そういったまちづくりをしなければならない、教育は極めて大事、子どもたちの環境は大事と、いつも考えているものであります。

今日は、そのようなことから、皆さんから安心して登下校できる、そのための歩道の整備についてのご質問をいただきました。これに対して、答えさせていただきます。

近年、全国で通学路の緊急点検が一斉に行われるようになりました。点検は、道路に穴など危険なところがないかなど、道路を管理している人、道路を利用している車や地域の人達の安全を守る警察官、皆さんをいつも見守ってくれている地域の人達や学校の先生方などが一斉に集まり、皆さんが普段通っている通学路の途中で危ないところがないかを確認するものであります。この点検により、特に危ないと考えられる場所で、簡単に直せる場所であれば、すぐに直しておりますし、そうでないところでは標識や看板を立てて、車や歩行者に危険を知らせるなど、安全を確保するようにしています。

町では、皆さんが安全に通学できるように、危ない場所については、国道の管理者である岩手県に対して、歩道の整備をお願いし、町が管理する道路については、できるだけ早く直せるように頑張っていますが、道路や歩道を掘げたり、新たに道路を造ったりするときには、その場所の土地の所有者から了解を得たり、工事にかかるお金を準備したりしなければなりません。

皆さんが通う道路や歩道について、できるだけ早く危ない場所をなくし、安全に歩行できるようにしたいと思いますが、国道、県道の管理者は岩手県でありますので、県に整備をこれまでもお願いをしてきました。五日市小学校学区だけではなくて、同じように歩道のない通学路がございます。併せて、これまでも県に対しても要望してきておりますが、今後、引き続き、この歩道の整備については、県に要望してまいりたい、そのように思っております。

また、町道等については、町の管理でございますので、これまで要望をいただいた場所については、すべて整備を終えております。国道から五日市小学校までの校舎の

間、これも歩道を整備いたしました。

今後、また新たに要望が出るようなときには、その要望に対して早く対応していきたい、そのように思っております。これからも、皆さんが普段歩行していて危ないと感じた場所などがあつたときには教えてもらえればと、そのように思っております。皆さんの通学における安全確保については、町としても最大限努力をしてみたいと思います。よろしく願いをいたします。

副議長（吉澤明香里さん）

ここで、議員から感想をお願いします。

25番、堀内華来彩議員。

25番（堀内華来彩議員）

通学路の安全・安心について、丁寧に答えてもらってありがとうございます。葛巻にはお年寄りがたくさんいるので、通学路だけでなく、お年寄りも安心して使えるような歩道があれば、もっと良い町になると思います。それから、今日は良い体験になったと思います。ありがとうございます。

25番（堀内華来彩議員）

26番（下野光議員）

27番（栗村龍斗議員）

28番（橘幸恵議員）

29番（辰柳遥菜議員）

ありがとうございました。

副議長（吉澤明香里さん）

5名の議員は、自分の席に戻ってください。

これで、一般質問を終了します。

ここで、町長からあいさつをお願いします。

町長（鈴木重男君）

本日は、子ども議会、ご理解をいただき、このように出席をいただいた31名の議員の皆さんに、まずもって感謝を申し上げます。そしてまた、傍聴席には町議会議員の全議員の皆様、そして、学校の先生方、ご父兄の方々、傍聴席にもたくさんの方々おいでをいただきました。感謝を申し上げる次第であります。

日頃は町議会10名の議員ですが、31人もの議員の皆さん、このように出席をされ、やがて町もこういった議会がもう1回できるような、そういう町に成長できればいいな、そのように先ほどから感じておったものであります。私どもが若いころには26名の議員の皆さんでありましたので、この議場は満席でありました。今は

10人の議員の皆さんですから、本当に少なくなったなど、そのように感じておるものであります。

議場での質問をしたり、議論をする、そういった機会は皆さん初めてなわけですが、議場の空気というのは特別なものだと、やはり緊張感がある、緊張感が学校と違う、そういったことも感じてもらえたらというように思います。議場では、町の将来のことを決める、今のことを決める、大事なことを議論する場であり、そういう場でもありますので、質問する側、あるいは答弁する側、極めて重く、慎重にしているものであります。

やがて、この中から将来町長が出、そして、多くの議員の皆さんが出てきていただくことを心から願っております。

今日は、大変多くの広い分野にわたっての質問をいただきました。それからまた、将来に向けての多くの要望なども、その中でいただいたな、そのように感じているものであります。産業、あるいは福祉、教育、あるいは医療、いろいろな分野に、まさに多岐にわたっての質問でありました。まちづくりや政治、あるいは議会、こういったものに関心を持っていただく機会になったこと、私としても大変嬉しく思っております。

どうぞ、今後におきましても、まちづくりに対して皆さんの、子どもたちとしての考えを町に、いろいろな機会に寄せていただくことをお願いをいたす次第であります。この部分についてはこうしてほしい。これは、こうやった方がよいと思います。やがて、こういう方向に進みたいので、こういう環境をつくってほしい。ぜひ、そういった要望などを寄せていただければというように思います。全員の皆さんの夢を実現できるようなまちづくり、今後も積極的に推進をしまいたいと、そのように思います。

皆さんの今後のより一層のご活躍を心から祈念申し上げながら、このようにご出席をいただいた皆様、そして、こういった機会に対してご理解をいただいた学校現場の校長先生をはじめ諸先生方に改めて重ねて感謝を申し上げまして、私の御礼のあいさつにさせていただきます。ありがとうございました。

副議長（吉澤明香里さん）

今日の日程は全部終わりました。

平成27年子ども議会を閉会します。

私たちの役目は以上で終わります。

ありがとうございました。

議会事務局長（澤口節子さん）

皆様、大変お疲れ様でございました。

ここで、葛巻町議会、中崎議長から、あいさつと今日の子ども議会の講評を述べてもらいます。お願いします。

葛巻町議会議長（中崎和久君）

皆さん、お疲れ様でございました。

町は、今年60年の節目の年、記念すべき年でした。そして、私たちは、この60年の記念で議会は何をしようかなというように10人の議員の皆さんと考えました。そして、その結果、普段、私たちは町のこと、そして、大人の皆さんからはいろいろな要望とかを聞いているわけではありますが、皆さんのような小学生の皆さんでありますとか、中学生の皆さんでありますとか、そういう方々から直接意見を聞くということがありませんでした。それで、夏休みを利用しながら、学校の先生方にご理解をいただき、今日、私の知る限りでは第2回目の子ども議会を開催をいたしました。

その中で、とても素晴らしい議長役、副議長役、進行をしてくださいましたお二人、そして、それぞれの皆さんが普段の勉強の中、あるいは学校の活動の中で考えていること、そして、その思いをまちづくりに、特に環境の問題、安全・安心の問題、そして、皆さんが常日頃身近に感じている学校生活、クラブ活動の問題、様々なご意見がありました。私たちも、改めて皆さんが葛巻の町のこと、地域のこと、学校のこと、たくさんのことをしっかりと真剣に取り組んで、考えていることを再確認しました。大変ありがとうございました。

議会は、まちづくりは、子どもたちから高齢者まで皆さんが参画をしながら、明るく未来に向かってつくっていかねばなりません。そういう意味では、今日の子ども議会は極めて優秀な議会でありました。以上です。大変ご苦労様です。ありがとうございました。

議会事務局長（澤口節子さん）

極めて優秀だったというお褒めの言葉がありました。

それでは、これで、平成27年の子ども議会を終わります。

大変、お疲れ様でした。

（散会時刻 11時38分）